平成29年度　都市農村共生・対流総合対策交付金 事業実施主体　評価一覧

●集落連携推進対策及び人材活用対策

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H27	H28	H29	H30		
東北	①子ども農山漁村交流	山形県	戸沢村	田舎体験塾つのかわの里	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。目標は達成できなかったものの、事業実績は27年度、28年度を上回っており、継続して取り組んできた教育旅行の誘致活動等の成果が表れている。さらに、NPO法人化が完了したことで、今後の取り組みの持続性に期待がもてる。今後は、交流実績のある学校との繋がりを強化するとともに、新規の交流先の開拓に向けて必要な施策をNPO法人が中心となっての検討が必要と考える。
東北	②地域資源の活用やボランティアを取り込んだグリーン・ツーリズム	岩手県	軽米町	創年のたまり場推進協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。地域資源を活用した特産品の開発・販売やグリーンツーリズムの実施を通じて、当初に比べると交流人口、売上げは増加している。ただし、これらの取り組みを継続して実施するためには、活動拠点である児童館の維持費とともに、特産品の販売に当たっての人件費等を確保することが求められる。安定した収益の確保に向けて、グリーンツーリズムの参加者や特産品の消費者からの意見を参考にPDCAサイクルにより取り組みの充実が図られることを期待したい。
東北	②地域資源の活用やボランティアを取り込んだグリーン・ツーリズム	宮城県	気仙沼市	（あつまれ、はまわらす実行委員会） NPO法人浜わらす	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。交流人口、売上げ、雇用のいずれも目標を上回って増加しており、本事業を通じた取り組みの成果が表れている。特に、SNSを通じた情報発信は、来訪経験者にとっては本吉地区への関心を継続させるきっかけになり、リピーターの確保に貢献していると考えられる。また、実施したプログラムの検証・改善に取り組むことで、実施主体自らでPDCAサイクルに沿った活動が行われており、今後の発展に期待がもてる。引き続き、地域の魅力を活かした体験プログラムを通じた都市農村交流の発展を期待したい。

注1：「事業実施段階」の凡例　○交付対象年度（計画）　●交付金対象年度（実施済）　□目標年度（計画）　■目標年度（実施済）

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H27	H28	H29	H30		
東北	③自然・景観を生かした美しいむらづくり	岩手県	久慈市	平庭高原「森の恵み・白樺の一滴」活用推進協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。交流人口、売上げ、雇用の目標は概ね達成できており、「白樺」を観光資源とした食、健康、美容のスモールビジネスの創出と地域資源の魅力向上が実現できている。今後は、これらの取り組みの基幹である「白樺」を保全する活動も重要となることから、地元だけでなく久慈市山形町を訪れる観光客にも、「白樺」の価値を理解してもらう取り組みの推進を期待したい。
東北	③自然・景観を生かした美しいむらづくり	福島県	西会津町	西会津ふるさとファンづくり協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。地域の魅力を活かした都市住民との交流プログラムの実施や特産品として新たに開発したハンバーグの販売等により、交流人口、売上げ、雇用の目標が達成できている。都市住民との交流促進だけでなく、地域住民自らが地域資源を改めて発掘し、それを観光ツアーに活用するという取り組みは、魅力ある観光プログラムの開発にとどまらず、住民にとっても自らが住んでいる地域を見つめ直し、誇りをもつことができる良い機会といえる。このような取り組みを継続して、都市農村交流を通じた更なる地域活性化を期待したい。
東北	⑤定住・集住等の環境整備	岩手県	一関市	いちのせきニューツーリズム協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。合宿免許プログラムによる交流人口の拡大ができなかったため、交流人口や売上げの目標は達成できなかったものの、新規移住者世帯は目標を上回っており、お試し移住を通じた本事業の取り組みの成果が表れている。今後は、継続して移住者を確保できるよう、移住者からの意見を反映させながら、移住促進に向けた取り組みをブラッシュアップを図っていただきたい。
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	青森県	鰺ヶ沢町	鰺ヶ沢白神グリーンツーリズム推進協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標については、崩落事故の影響等を考慮すると概ね達成できていると考えられ、また昨年、合同会社を設立していることから、今後の取り組みの継続性に期待がもてる。漬物メニュー等の開発やグリーンツーリズムの人材育成に精力的に取り組んだことから、事業の目的に掲げている農業と観光の魅力づくりは十分に進められている。今後は、ホームページだけでなくSNS等を活用した消費者への情報発信を通じて消費者とのネットワークづくりを進めていただきたい。

注1:「事業実施段階」の凡例　〇交付対象年度（計画）　●交付金対象年度（実施済）　□目標年度（計画）　■目標年度（実施済）

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H27	H28	H29	H30		
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	岩手県	釜石市	釜石市甲子地区活性化協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。事業計画に基づきしっかり取り組みを継続して進めている。これは、関係者が事業の目的、計画、目標をしっかり理解して、共有しているからのことと思われる。甲子柿の価値を高めていくことは、生産者や関係者のみならず地元住民にとって地域の食材を改めて意識することとなり、大きな自信となると考える。強いて言えば、しっかり取り組みを進めておられる中でも問題や課題はあったはずで、それをどう解決して進めてきたのかなどについての成果が望まれる。活動を様々展開していることからも今後の展開に期待したい。
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	岩手県	雫石町	雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。事業を継続して進めていくためには、常に現状を確認し、修正することが必要。そのためには、問題や課題をしっかり認識し、関係者全員で早期に共有、解決していくことが望まれる。社会情勢、外部要因は必ず変化があるため、それに左右されないよう、あるいは、対応できるような体制の構築が必要。ターゲットについても、どこから、どのような人に来ていただきたいのかをきちんと確認すべき。せっかくの取り組みなので、課題を解決して継続していただきたい。
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	岩手県	田野畑村	体験村・たのはた教育旅行受入協議会	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。教育旅行の獲得は激戦であり、簡単に達成できるものではないと考える。その中で、訪れた人にまた再訪していただけるよう地域を挙げて、おもてなしの気運の醸成を図り、レベルアップしていくことこそが評判につながり、結果的に選ばれる地域となるのだと思われる。事業実施評価書には、「営業ノウハウの不足、あるいは、回数、質の不足が原因なのか定かでなく実績につなげられていない」とあるが、早急に原因を突き止めての軌道修正が望まれる。せっかくの取り組みなので、改善して継続していただきたい。
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	宮城県	気仙沼市	気仙沼・大島みらい創り協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。地元特産の大島かぶや水産品、郷土料理および観光資源をブラッシュアップするため、様々な取り組みを行っている他地域との交流を深め、活動に生かしていることがうかがえる。地元高校生や団体と一緒にイベントやワークショップを開催するなど取り組みの波及効果も大きい。また、1年間の事業内容を大島全戸に配布される新聞に掲載することは、島民に事業内容の周知を図るほか、地域を改めて見直すこととなり、結果訪れた人を大島を挙げて迎える体制を整えることとなると思われる。今後の取り組みに期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例　○交付対象年度（計画）　●交付金対象年度（実施済）　□目標年度（計画）　■目標年度（実施済）

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H27	H28	H29	H30		
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	宮城県	登米市	新田地区活性化協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし、ひとつひとつ取り組まれた様子がうかがえる。是非、地域の多くの方々の出番を創出し、また、取組状況等についての詳細な取りまとめ・報告体制を構築しつつ、継続し発展されることを期待したい。
東北	⑦「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム	宮城県	亘理町	亘理のいちご復興連携協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。若手農業者がリーダーシップを発揮し、着実に成果を上げている様子がうかがえる。取り組みを継続し、さらに厚みを増すためにも、東京や北海道へのPR事業を展開する中、「モニターツアーについて首都圏の反応が小さい」こと、また、「モニターツアーなどいくかの目標が未達成であることについて、関係者全員でしっかり協議して改善していく」ことが望ましい。今後の取り組みに期待したい。
東北	⑧農山漁村における大学・企業等の研修等	宮城県	南三陸町	(株)南三陸農工房	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。沿岸部に位置する南三陸町において、耕作放棄地を活用し体験交流型の農業に取り組み、都市農村交流を促進していることは、地域の多くの人の出番をつくり、また、訪れる人により町を知っていただくことになっていると思われる。計画をしっかり立て、着実に進めている様子がうかがえる。東日本大震災で受けた甚大な被害を抱えながら、様々な取り組みを継続して行い、人や地域とのつながりが拡大していることは大いに評価できる。今後さらに発展されることを期待したい。
東北	⑪「農」を活用した医療・福祉等の連携	青森県	八戸市	三八地域障害者農業就労促進ネットワーク	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。交流人口，売上げ，更には雇用までも，交付金なしで28年度を上回る成果を収めていることは十分評価できる。これまで行われていなかった雇用を実現できたのは，本事業が本格的な事業として継続性を実現できた証左と思われる，初見にあるように，周囲からのニーズが着実に増えており（農作業マッチングでの賃金を上げてもよいという農家からの高い評価）、また、それに応えることのできる組織として認識されていることがわかる。今後益々の発展を期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例　○交付対象年度（計画）　●交付金対象年度（実施済）　□目標年度（計画）　■目標年度（実施済）

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H27	H28	H29	H30		
東北	⑪「農」を活用した医療・福祉等の連携	岩手県	陸前高田市	森の前地区都市農村共生・対流推進協議会	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。交付金なしでの事業という観点から見ると、交付金による事業よりは、よく取り組んでいる印象がある。特に本事業の目的がコミュニティの再建にあり、つながりを修復することにあることを考えれば，一定の成果を収めたともいえる。売上高は確かに目標を大きく下回っているものの、28年度の水準を維持しており，着実にネットワークのストックが形成されている印象を受ける。これからも継続して実施し地域の活性化を図っていただきたい。
東北	⑪「農」を活用した医療・福祉等の連携	福島県	本宮市	白沢農福連携協議会	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。本事業は新商品の製造・販売と宅配サービスに分かれるが，その本質はその担い手の交流にあり、交流人口としてカウントされている。この点については28年度を上回っており，本事業の大きな目的は達成できたともいえ、今後も是非継続的に取り組んでいただきたい。売上げについては，商品を作ったからといって直ちに売れるわけではない。むしろ，継続性が大事で「よい商品」ならば時間をかけて浸透を図らなければならない。交流でできたネットワークを大切にしながら、次の段階を目指し、発展されることを期待したい。
東北	⑫地域提案型活動	岩手県	二戸市	穀彩王国にのへ創郷協議会	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。交流人口は、交付金のあった28年度を上回ることはなかったが、それでも29年度の目標値を超えており、本事業以前よりも大きく増やしていることがわかる。売上げは交流人口の割には単価が低くなっているが、ここでの売上げにカウントされないものもあるので、数字ほどの減少ではないのかもしれない。同地域への関心がしっかり存在していることは、交流人口からうかがえるので、それをどのように呼び込んでいくのかが重要な鍵となるだろう。PDCAサイクルで事業実施を評価するとともに事業の継続的な実施を図っていただきたい。
東北	⑫地域提案型活動	秋田県	秋田市	ハピネッツヴィレッジ構想協議会	●	●	■		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。本事業ではイベントなどを実施して人々を呼び込み，商品開発によって地域の特産品を生み出すことで，地域全体の維持・活性化を図るというもの。交流人口や雇用はほぼ横ばいを維持しており，その上で新商品の開発によって成果を上げているものといえる。一方，売上高が29年度目標の1割強であったのは，事業をこれから継続実施するためには大きなリスクがあることを示している。比較的安定した販路等を確保しているとはいえ，交流人口や新商品によってこうしたリスクを軽減するようなことを図る必要があると考える。

注1:「事業実施段階」の凡例　○交付対象年度（計画）　●交付金対象年度（実施済）　□目標年度（計画）　■目標年度（実施済）

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H27	H28	H29	H30		
東北	⑫地域提案型活動	秋田県	大仙市	角間川地域活性化協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。雇用以外は目標を上回っている本事業は、角間川流域の歴史・文化を活かして交流を図り，農業と地域の活性化を図ったもので、特に大曲花火という全国規模の観光資源の効果は大きいものであり、また安定している。一方、年間を通じた地域資源の活用など（観光資源や特産品など）にまだ工夫の余地があり、コンスタントに交流が図られるよう今後の展開に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例　〇交付対象年度（計画）　●交付金対象年度（実施済）　□目標年度（計画）　■目標年度（実施済）